

第32回さんない古里会総会

11月3日、東京都上野精養軒にてさんない古里会が開催されました。今年度、新規入会の7名を迎え、会員や山内地域関係者など107名が参加しました。

会場には地元・山内の特産品が並び、参加者たちは故郷の味を堪能しながら、思い出や近況について語り合いました。

最後は、毎年恒例の「ふるさと」を参加者全員で合唱して、会を締めくくりました。



流雪溝はルールを守って使用しましょう。

流雪溝はルールを守り正しく使用しないと、大きな被害や人命にかかわる事故につながります。

投雪口の鉄格子は絶対外さないことを厳守してください。鉄格子は詰まりによる溢水、人や除雪道具等の落下防止のため設置しています。昨年、小学生が転落する事故がありました。子供のみならず利用する皆様ご自身の安全と、他の方に迷惑をかけないためにも必ず利用ルールを守りご使用ください。

ワークショップ開催

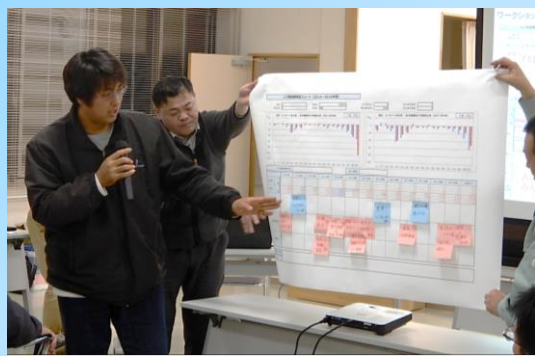
現在山内地域では、地域住民と行政が協力・協調し、地域に必要な事業を住民が企画・展開できる体制を作り、総合的な地域づくりの確立を目指す「地区交流センター化事業」を進めております。

その一環として県主催事業の「コミュニティ生活圏形成事業」を活用し、地域の現状課題を把握し、解決に向けた取り組みを考えるワークショップを山内庁舎にて2回実施しました。地域の年代別、男女別、各団体代表者など78人が参加しました。

11月8日 第1回

「地域人口安定化を考える」

現在、そして将来の人口予測を見ながら人口増減の要因や人口安定に向けた定住目標などについて、グループごとに話し合いました。



12月5日 第2回

「地元天気図づくり」

第1回で話し合った内容をもとに「地元天気図」を作成し、地域の強みや弱みを理解するとともに、それらを活かす、または克服するためにどんな活動ができるか話し合いました。



2月1日には平鹿生涯学習センターで活動報告会が開催される予定です。

県営発電所周辺地域等振興事業

山内地域では、平成11年より大松川ダム発電所が稼働していることから、県営発電所周辺地域等振興事業助成制度の適用を受けています。

利用者の安全確保のために緊急時に対応できるように、この度、同事業を活用し、体育館に屋内消火栓を新設しました。

